

人権教育講話 「デートDV」

本校2年生を対象に、デートDVとは何かを理解し、男女の対等な人間関係づくりのために必要な態度や言葉遣い、相手への気遣いなどを学ぶための講演会を開催しました。

講師は、「こうち男女共同参画社会センター ソーレ」より派遣していただきました。



生徒の感想

女性は約4人に1人がデートDVを受けていると知りすごく身近に感じた。自分の被害を受けないためにも相手のことをよく知るようにしたい。もし友達から相談されたら相手にかける言葉に気をつけたり、相手の気持ちになって考えてあげたいと思った。

DVというのは聞いたことがあったけどデートDVというのは初めて知ることができました。デートDVは10代から20代に多いと知り、他人事じゃないし、身近な問題だと感じました。もし周りの人がDVを受けていることが分かったらその人の相談にのってあげたいと思ったし、自分もしその立場になったら相談できる人や場所を見つけておくことが大切だと思います。

一番はお互いに話し合っ、納得できる関係を築くことか、大事なことを感じました。しかし、神奈川での事件のように一方的にせられ続け、耳をもちかたな場合もあると分かったので、友人に相談するだけでなく警察などに助けを求めることも選択肢にいれておくことも大事なことを感じました。ありがとうございました。

デートDVの背景には、対等ではない関係、力の支配、ジェンダーの価値観、暴力の容認性などがある。DVを受けたら、安全・安心な場所を確保する必要があるし、相談を受けたら、「あなたは悪くない」とはっきり伝える必要があるし、傷つけることは被害者につなげる可能性があることを分かりました。

・デートDVの背景には対等ではない関係・力の支配・ジェンダーの価値観・暴力があるんだなと思った
 ・それで今回知れたのは「悪いのは加害者だ」ということだ
 ・自分もいろいろするタイプかな、と思うから、もしパートナーができたら冷静に考えて行動しようと思う
 ご協力ありがとうございました～ (公財) こうち男女共同参画社会づくり財団